**令和○年度活動報告書**

**記載例**

活動組織名を記入

活動推進費と森林機能強化タイプは他に活動内容を記載する事が無いので、**活動記録、活動費支出簿と整合性を取りながら**記載して下さい。**地域活動型（森林資源活用、竹林資源活用）はモニタリング結果報告書から**、関係人口・創出・維持タイプは実施結果報告書から簡単に記載して下さい。**また、地域活動型には素材生産等の状況も必ず記載してください。**

１　活動推進費

　活動エリアの範囲を確認しながら森林状況調査を行い、森林整備の目標を検討し、活動方法の共有化するために室内打合せを行った、このほか、作業を安全に進めるためにヘルメットを購入した。

２　地域活動型

★ モニタリングが森林整備の場合

　ａ　森林資源活用

　活動エリア内で伐採する50本のうち本年度目標の20本を伐採した。また伐採木の一部を搬出し、薪用に玉切りした。

　ｂ　竹林資源活用

* 侵入竹除去の場合

　目標とした林内の見通し30ｍを確保することができた。また伐採した篠ダケを植栽木の支柱に利用するため1.8ｍに切りそろえた。

* 竹林整備の場合

　本年度の目標とした立竹密度8本/100㎡を達成した。伐採した竹で堆肥生産用の枠を作成した。

* モニタリングが素材生産量等の場合

　エリア１では、竹を伐採して5回の炭焼きを行い200kgの竹炭を生産した。

　エリア２では、伐採した木を玉切りし、薪、炭用に1.0㎥の材を搬出した。

　エリア３では、草刈、除伐を行うとともに1.0㎥の堆肥を生産した。

　エリア４では、竹を伐採、集積し、○kgのタケノコを生産した（モニタリング写真は５月に再提出）

３　森林機能強化タイプ

　この歩道を塞いでいた5カ所、21本の倒木を伐採し片付け、道幅を確保した。土砂の流出などで歩道が消失した部分はスコップ等で歩道を作出、また伐採木を使って簡易的な土留めも作った。

４　関係人口維持、創出タイプ

　地域外から2回、計12人が参加して、竹の伐採と搬出作業を実施した。詳細は別紙実施結果報告書のとおり。